



# かけこう通信

令和7年度 第7号  
令和7年11月14日  
島根県立三刀屋高等学校  
掛合分校発行(文責:小川)

## 助け合い、高め合い ～小高合同避難訓練～

10月20日(月)1限に、隣接する掛合小学校と合同で避難訓練を行いました。今回は、

- ①授業中に地震が起こった場合の安全で迅速な避難について学ぶ。
- ②地震から身を守る方法を知り、危険を回避する行動ができるようになる。
- ③自らの安全の確保だけでなく、災害時に他の人々に意欲的に貢献する取組ができる。

を目的に、地震を想定した避難訓練でした。

地震の発生とともに、第1次避難として教室で各自机の下に隠れ身を守り、避難場所・避難経路を確認したあと、第2次避難としてグラウンドへ避難。そこで小学生たちと合流しそれぞれで点呼したあと、小学生・高校生が並んで2列になって第3次避難として掛合総合センターへ避難(今回は時間の都合でグラウンドを1周)しました。地震により校舎裏側の山が崩れ、グラウンドが地割れし、地面が揺れるなか、避難する総合センターへの道のりは険しいことが想定されますが、分校では、これに負傷者がいる想定を加え、第3次避難所まで担架で運ぶ訓練もしました。



小学生と一緒にだったこともあるのかもしれませんが、緊張感と真剣さが伝わるきびきびとした訓練でした。また、小学生と高校生が並走する際には、小学生を気に掛ける様子も見られ、高校生らしさを感じました。小学校の校長先生からは最後に、「高校生の力が頼りになる。小・高が力を合わせて避難することで、小学生たちは安心感を抱け、この経験がきっと記憶に残るはず。高校生には、これが将来地域や職場で支えるきっかけとなり、自信や経験になったのではないかな。これまでの小高連携が、今後も助け合い、高め合いへとつながるとよい。」と講評いただきました。

まずは自分の命を守ること、それができれば次に弱者や地域の助けになるような活動へと移っていける意識と行動力を備えてほしいと願っています。

## 自ら気づき、考え、実行し、反省する ～2年生インターンシップ～

10月15日(水)から17日(金)までの3日間、2年生が市内外にある18の事業所等の協力を得て、インターンシップを行いました。その目的・ねらいは

- ①「自ら気づき、考え、実行し、反省する」活動を通して、主体性、自主性を養う
- ②自己理解を深めるとともに人とのコミュニケーション能力を高める
- ③勤労体験を通して、進路について考える

とし、例年この時期に実施しています。平成15年度から続く伝統行事となっていますが、その当時から生徒たちを受け入れていただく事業所等もあります。実習先は生徒たちそれぞれが将来の志望進路等を踏まえて考え、決め、事前に連絡を取りました。そして、期待と不安、緊張を抱きながら当日を迎えました。外から見聞きするだけではわからない仕事や職場の雰囲気、そもそも「働く」ということなどしっかり感じる事ができました。



翌週21日(火)6限にはその報告会を行い、体験内容や大変だったこと、うれしかったこと、学んだことや発見したことなどをスライドにまとめ、それぞれが自分のことばで発表しました。特に、アドバイスいただいて取り組んだことをほめてもらったり、あいさつやハキハキ受け答えをすることの大切さだったり、

将来一緒に働けることを楽しみにしていると声を掛けていただいたりして、そのうれしさを語る一人ひとりの笑顔が印象的でした。実際に仕事を体験してみると自分の向き不向きを改めて感じたり、中学時代と同じ事業所等に行き自身がレベルアップしたり、3日間の短い期間でしたが自分の変化に気づいたり、貴重な経験の中で得たこと、発見したことなど、多くの気づきがあったようです。

この機会を通して、それぞれが改めて地元や事業所等を知り、自分の将来に、そして地域に向き合えたことと思います。ご協力いただきました事業所等の皆さま、ありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



## 「うやま米」の美味しさ発信！ ～たたらば壱番地でのお米調査・販売実習～

10月30日（金）14：00～16：00、11月1日（土）11：00～14：00に道の駅たたらば壱番地にて、2年生の「うんなんのお米を応援するプロジェクト」の一環で、調査・販売活動を行いました。10月3日（金）14：00～16：00には同地でプレ販売を経験していたため、その反省等が活かされました。

今年度2年生が雲南市吉田町民谷宇山地区の水田において、田植えから稲刈りにいたる農作業の一部を体験学習し、そこでできたブランド米（「雲南市プレミアムつや姫 たたら焰米（ほむらまい）」、「うやま米」、「雪姫舞」）の生産・加工・販売について、宇山営農組合、雲南市、その他関係諸機関と協働しながら、高校生の目線で販売戦略・広報を提案し、台湾で広報・販売する学習活動を行っています。今回は、総合的な探究の時間の一環で行っている「うんなんのお米を応援するプロジェクト」の中で、生徒たちがより消費者目線を意識できるよう、次の目的で調査・販売活動を行いました。

### 【調査の目的】

- ・お客様が普段どんなお米を選んでいるのか
- ・地元のお米にどんなイメージをもっているのか
- ・どんな情報発信が効果的なのか

### 【販売の目的】

- ・地元産のお米の美味しさ・品質を実際に食べて知ってもらう
- ・お米のよさを伝えるための試食の方法を学ぶ
- ・接客の方法を学ぶ



両日とも雨が降る寒いなかで、お客さんの出入りが少ないかと心配されましたが、予想を上回る売上でした。生徒たちは、

- ・購入者への簡単なアンケートによる調査
- ・SNSや学校ホームページを活用した情報発信
- ・オリジナルキャラクターやポスターでの魅力発信
- ・冷めても美味しいおにぎりなど試食を通じたPR

の各活動において、班ごとに役割を分担し、積極的に取り組みました。特に、アンケート調査には試食していただいた初対面の方々にも物怖じせず積極的に声がけしていました。

11月7日（金）・8日（土）には掛合分校文化祭において、「たたら焰米（ほむらまい）」「うやま米」の特別販売会を行い、生徒が販売促進活動を行いました。また、本プロジェクトの中間発表も行いました（その詳細は次号で取上げる予定です）。当日は、保護者や卒業生、旧職員、地域の皆様ほか多数ご来校いただき、たくさんご購入いただきました。

【販売例】うやま米「つや姫」：300g、2kg、5kg

うやま米「コシヒカリ」：300g、2kg、5kg

また、今後の予定は次のとおりです。

- ・11月16日（日）から19日（水）までの台湾研修旅行の一環として、台北市にあるSOGO忠孝店で「雪姫舞（つや姫）」の広報・販売活動を行います。
- ・研修旅行後、台湾での販売経験をもとに、11月以降、来年度に向けて改善策を練り、提案します。
- ・一年間の取組に関する成果をまとめ、2月以降、しまね探究フェスタ、雲南探究アワード等で成果発表を行います。
- ・その他、本取組の実践に関して多数の発表の機会を提供いただいています。

